


フューチャーセッション：  
身近なモヤモヤを考える！  
（結果報告レポート）

宮崎産業経営大学経営学部  
オープンキャンパス模擬講義（7/21）





# セッションの流れ

## 1. チェックイン (10分)

フューチャーセッションとは何か

## 2. ストーリーテリング (10分)

本日のテーマ「ピンクリボン活動」についての知識の共有

## 3. クイックプロトタイピング (5分 + 回収)

アイデア出し。1人1個以上、ポストイットに記入

## 4. フィードバック (15分)

優れたアイデアをみんなで共有



# セッションテーマ

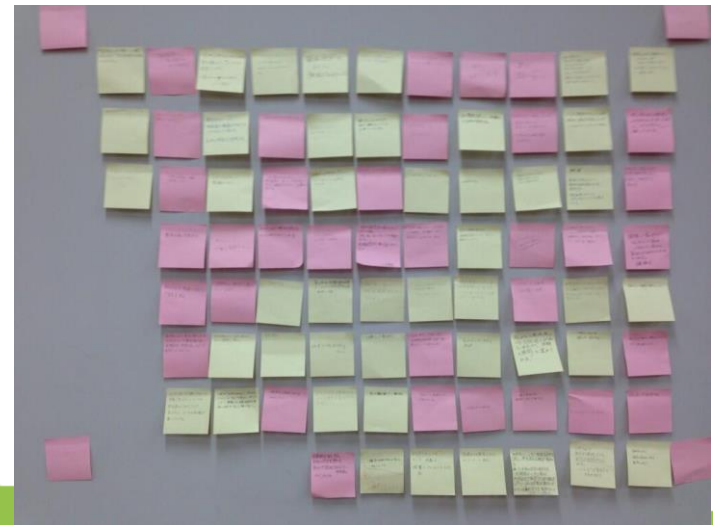
- あなた自身、そしてあなたの大切な人に乳がん検診を受診してもらうためにはどのようなことができるでしょうか？

## <テーマ設定の意図(ストーリーテリング部分)>

- ・宮崎県は、乳がん検診受診率が全国ワースト4位(6.7%)。ピンクリボン活動が普及をしている一方で、アクションにつながっていません。
- ・県内のピンクリボン運動は、ピンクリボン活動みやざきを中心に乳がんセミナー、バナーの掲示、ピンクリボン自動販売機の設置、県庁のライトアップなどが行われています。

# フィードバック①

- 短い時間のセッション、しかも高校生には少しとっつきにくいテーマであったにも関わらず、100個近いアイデアが生まれました。フィードバックの時間では、優れたもの、面白かったものを5つ選び、みんなで共有しました。





## 参加学生のアイデア①

- 毎月1回ピンク色の花火をあげる。  
これは、忘れがちな検診を改めて知らせるきっかけになるし、夏でも冬でもオシャレな普及方法です。
- 下着など女性が使うものにQRコードを付けて呼びかける。  
これも呼びかけの方法として面白い。日々使うものから、情報を取れるなら利用する人も多いかも。



## 参加学生のアイデア②

- 小児科で掲示する。

これは、乳がんの発症が低年齢化をしているのを受けて、小さいお子さんを持つ母親をターゲットにしたもの。適切に課題を捉え、アイデアを出しています。

- 土下座をして頼み込む。

これは、男の子からの発想。大切な人に検診に行ってもらうために、そこまでできれば最高。会場で一番の笑いが起きました。



## 参加学生のアイデア③

- イメージキャラクターを作って、親しみやすくする。  
乳がんの検診の一番のハードルは、とっつきにくさ。  
まずはイメージキャラクターで普及をしていくもの手かも。



## フィードバック②

- イノベータ理論では、新しいものを進んで採用する人は2.5%。会場にいる学生100人がイノベーターであれば、その行動により4000人に影響を与えることができます。
- 本日生まれたアイデアを、ぜひアクションにつなげてみてくださいと伝えて、セッションは終了しました。